

能登半島地震第7次震災ボランティア 静岡県評の仲間5人が参加

静岡県評は、米110Kg他の救援物資を被災地へ
支復興・復旧の立ち遅れのなかの豪雨災害

～豪雨災害は人災と怒りの声～

能登半島地震の被災地を9月21日早朝に襲った豪雨によって珠州市、輪島市などで多大な被害が
出ました。9月28、29日に第7次被災地ボランティアが行われ、全国から54人が参加(静岡から
化学一般興亜労組から大石委員長・佐野副委員長・山内書記長の3名が静岡自治労連浜松市職労から
梶井副委員長・宮本執行委員の2名合計5名が参加)し、災害廃棄物の運び出し、泥除去、土嚢(ど
のう)作りなどの作業を行いました。あわせて災害救援物資コ×110Kg・水2L×42本(県評・通信労組)
カップ麺6箱(県国公)を被災地へ届けました。



険しい被災地への道路

石川県羽咋市の共同支援センターに簡単な打ち合わせを行った後、3つのグループに分かれ、輪島
市内の被災住宅やグループホームに向かいました。能登里山海道は、7月17日から対面通行が再開
されましたが、崩落部分を避けるため、険しい迂回路が続いています。市内に到着したのは11時過ぎ
と2時間に及ぶ移動となりました。

倒壊建物放置に言葉を失う

至る所で、震災で倒壊した家屋が手つかずのままとなっている状況を目の当たりにし言葉を失
いました。

被災家屋内は、泥が数センチ溜まっている状態
で、なかなか思うように進まず、「途方に暮れてい
ましたが、皆さんに手伝って貰い、頑張ろうとい
う気持ちになれました。」との被災者の言葉にボラ
ンティアも救われました。





～参加者の感想より～

- ▼9ヶ月もたっているのに復興が遅れていて、国や県など公的な力が届いていないと感じた。地震と豪雨災害と続き、ボランティアなどの支援と共に行政が復興にもっと力を入れるべきと感じた。被災地の方たちが何とか踏ん張っている間に、公的な支援を！
- ▼泥のかき出しをやりました。想像以上に大変でした。普段 重労働をしているので泥出しくらいのボランティアの方がちょうど良い。

- ▼力仕事は疲れましたが、役に立てたら幸いです。
- ▼”今回、震災に加え豪雨による被災の報道に、急遽ボランティアに、参加させて頂きありがとうございました。ドコの処理の仕事は、力仕事で、長時間は、出来ないけれど、人も沢山必要なので、参加できて良かったなと思いました。
- ▼最後に、被災された方が、「途方に暮れていたけれど、皆さんに手伝って貰い、頑張ろうという気持ちになりました。」と言って下さった事が、本当に嬉しかったです。”
- ▼現地の人のお話が聞けたし復旧のお手伝いできてとてもいい経験になりました。ありがとうございました。

被災者支援へ 物資支援に協力をお願いします！

- ▼水(ペットボトル) ※できれば2リットルの箱詰め
 - ▼おコメ、パックごはん、アルファ米、缶詰、レトルト、カップ麺など保存がきく食料。(生鮮は電話で事務局にご相談ください。)
 - ▼ペーパータオル、タオル、ティッシュペーパー、ラップなどの日用品
- なお、支援物資については新品または未使用品に限ります。発送の際は、送り状に品目等の記載を必ず、お願いします。送料については各自負担でお願い致します。

<送付先>

〒925-0026 石川県羽咋市石野町ト13番地
被災者支援共同センター気付 石川災対連 宛
TEL 0767-23-5107

被災者支援へ 救援募金の送付先はこちらへ

<振込先>

口座名:石川県労連 能登半島地震救援復興募金
銀行名:北陸労働金庫 本店
口座:一般口座
口座番号:(店番号:452)3347244